

令和6年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない
 ■

(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		考察
1 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 学校は、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努めていると思いますか。 (感動・感謝、郷土愛、いのちを大切にすること、こどもの体力向上、基本的な生活習慣など)	2 自ら学びに向かう力を育む教育の推進 学校は、こどもが自分で考え、自分から取り組む授業づくりに取り組んでいると思いますか。	生徒指導上大きな問題がなく生徒は落ち着いた学校生活を送ることができている。体育の授業や運動部活動でも活発な活動ができており、そのような状況から項目1は保護者、生徒ともに肯定的な評価が多いと考えられる。項目2においては、タブレット活用を軸としたこの4年間の授業改革の成果が出ていると思われる。教える授業から学び取らせる授業への転換が図られており、約8割の生徒がそのことを実感している。保護者の評価も肯定的である。
(1) 主体的に考え行動する力を育む教育の推進		
3 社会の形成や持続的発展に主体的に貢献する力を育む教育の推進 学校は、学校生活や地域社会をよりよくするために考えたり、行動したりするこどもの育成に、取り組んでいると思いますか。(児童会・生徒会活動、学校のきまり見直し、地域のよさを伝えたり課題解決したりする取組、ナイスライ(中学校)など)		学校行事や部活動において、生徒が主体的に活動している場面が多く見られた。そのような生徒の姿を見た保護者から肯定的な評価を得られたと考える。一方生徒の意識としては、リーダーシップを発揮した一部の生徒が取り組み、自分自身はあまり貢献できていないと捉えている生徒が多いのかもしれない。生徒の活動を教師が価値づけ、生徒一人一人の活動が学校や地域社会に貢献していることを実感させていく必要がある。全職員で生徒への声かけ、関わりを大切にしながら、生徒一人一人に自己有用感を持たせていきたい。
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
4 5 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 学校は、こどもが、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学ぶ授業づくりを行っていると思いますか。	学校は、こどもが、対話などを通して、他の人の考えや意見を自分の学びに生かすような授業ができていると思いますか。	項目4・5ともに保護者の評価は低い。その要因としては、授業参観において教科の授業は7月の1回だけで、他は行事の説明会や学習成果の発表会を行っており、保護者が生徒が教科の学習に取り組む姿を目にする機会が少ないことが考えられる。授業参観等の在り方を工夫する、通信で学習の様子を公開していく等の対策が必要である。また「学習方法を生徒自らが選択決定して進める授業」については、一部の教師、教科では実施しているが広まってははいない。今後の課題である。項目5の「対話的な学び」については、この4年間の研修の成果として定着してきており、アンケートの結果にも表れている。
(2) こども一人一人を尊重した教育の推進		
6 特別支援教育をはじめとする多様な教育的ニーズに対応した支援の充実 学校には、こどもが助けを必要とするときに、先生や友達から支えてもらえる温かな雰囲気があると思いますか。	7 インクルーシブ教育の推進 学校では、こどもがそれぞれの違いを認め、お互いを尊重し合って共に学び合っていると思いますか。	学校教育目標の一つである「協生」、生徒指導の重点項目である「他者認識」などを大切にされた教育を全職員が意識した取り組みを行っている。学校行事や日頃の授業、生徒会活動など学校教育全般で生徒への意識づけもできている。その成果が項目6の結果に表れていると考える。また、特別支援学級と通常学級の交流も盛んに行われており、差別的な言動が極めて少なく、インクルーシブ教育は十分に推進されていると考える。通信等での啓発や発信を今後努力していきたい。

(3) 最適な教育環境の整備

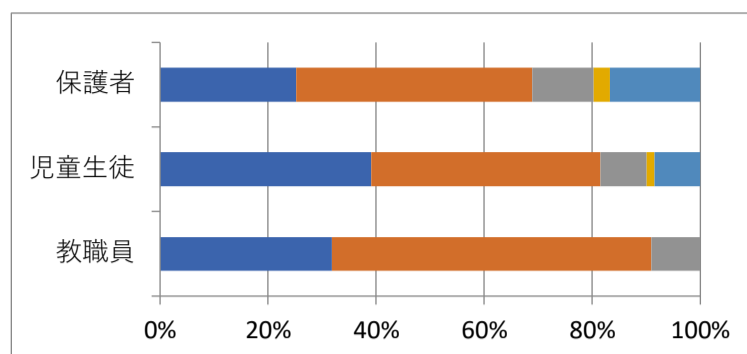
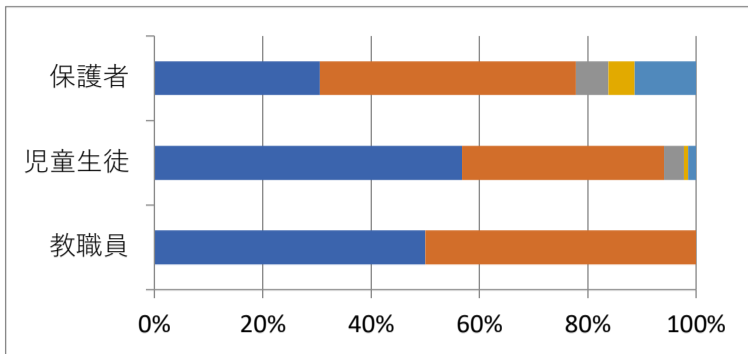
8 安全・安心な園づくりの推進

9 地域や家庭と連携した教育環境の整備

学校は、こどもの安全を守る環境の整備を進めるとともに、安全教育（生活・交通・防災など）に取り組んでいると思いますか。

学校は、地域や家庭の人と協力して、授業や行事などの教育活動を進めていると思いますか。

項目8においては、自転車の交通マナー等に課題は見られたが、適時集会を開催し交通安全の啓発を行った。その成果として交通マナーの向上と肯定的なアンケート結果につながったと考える。項目9の地域や家庭との連携においては、青少協との交流が盛んに行われており、PTA活動もバザーや親子奉仕活動など従来行われていた活動が再開し、生徒のアンケート結果も肯定的であったと考えられる。一方、保護者へは情報の発信等を今後工夫していく必要があると感じる。

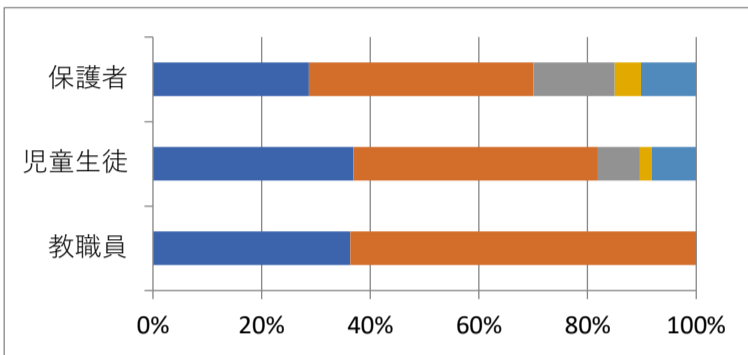


(4) こどものいのちと権利の擁護

10 こどもの最善の利益を守る環境づくり

学校は、こどもの意見を反映させ、こどもの権利を守るとともに、こどもや保護者が相談しやすい学校づくりに取り組んでいると思いますか。

校則見直しをはじめとして、子どもたちの意見を学校づくりに反映させ、積極的に参画させることに取り組んでいる。生徒にはそのような意図が伝わっているとアンケート結果から感じることができた。保護者にはそのような動きが十分に伝わっていないと考える。通信だけでなく、体育大会や文化発表会などの行事、授業参観等でも生徒の発言や行動から発信していく取り組みをさらに推進していかなければならないと感じる。



独自項目

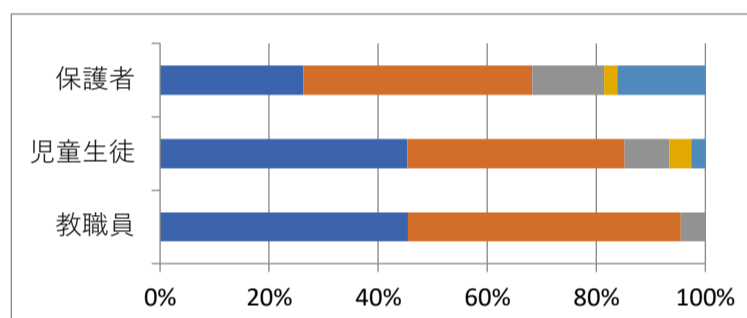
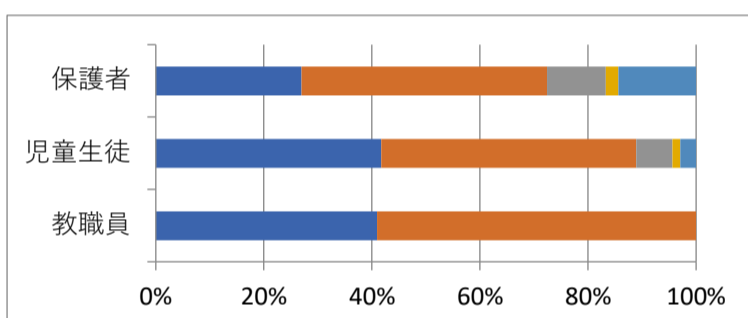
本校の教育①

本校の教育②

学校は、多様な意見を参考にしながら生徒自身で物事を決定するように指導していますか。

学校は、生徒が自分の思いや考えを周りの人に伝えることができるように指導していますか。

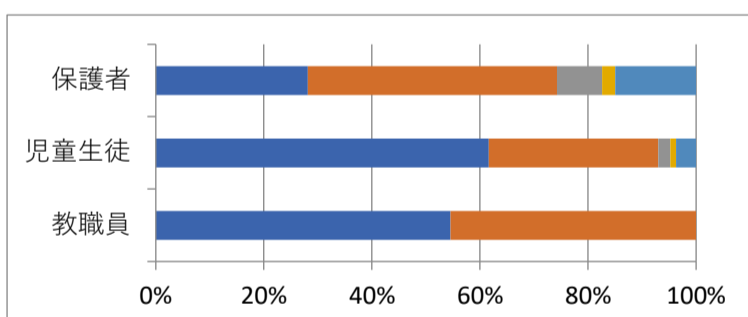
本校の教育①では、生徒指導において自己判断・自己決定を大切に生徒支援を行った成果が出ていると感じる。この3年間継続した取り組みであり、職員の意識にも定着してきている。今後も継続していきたい。本校教育の②は表現力の向上を目指して取り組んできた成果が出ている。自分の思いや考えを表現することは長年の本校の課題であり、まだ十分とは言えない。現状に満足することなく、さらなる向上を図っていきたい。



本校の教育③

生徒は、友達と協力して活動する中で、友達のよさを認めることができていると思いますか。

生徒会活動では「みんなが居心地が良いと感じる学校づくり」をテーマに取り組んできた。その実現に向けて生徒会が様々な企画を立ち上げ取り組んだことを生徒自身が感じた達成感がアンケートの結果に表れている。今後も生徒自身がよりよい学校づくりを意識した活動ができるよう支援を継続していきたい。



来年度の具体的な取組について

- ・生徒が主体となり活躍する学校づくりは一定の成果を上げている。生徒指導等の課題が少ない状況を鑑み、さらに生徒の意識が向上するよう、全職員で生徒支援に努めていきたい。
- ・生徒自らが学びに向かう力が向上するよう、授業改善を進めるとともに、頑張りが結果にも表れるように基礎学力向上に向けた取り組みを推進していきたい。
- ・PTA活動をはじめとして、学校行事や学年行事等を通して保護者との連携を密にし、保護者から信頼され、応援してもらえる学校づくりに向けて全職員でアイデアを出し、魅力ある学校づくりに邁進していきたい。

小中学校関係者評価

学校評議員会を学期に1回ずつ開催した。1学期と3学期は授業参観と意見交換、2学期は学校指定物品検討委員会、校則等検討委員会を行った。教師の話をよく聞き、落ち着いて学習に取り組む授業態度、男女の別なくともに学び合う雰囲気が高い評価を得た。体育大会でも学校評議員を来賓として招待し、生き生きと自主的に活動する生徒の姿に良い印象を持たれた。学校指定物品検討委員会、校則等検討委員会においては、令和7年度から採用される市共通標準服への関心が高く、多くの質問が出された。市の指針に従い、生徒や保護者の意見に寄り添いながら改正したことに理解を得ることができた。